

成果と課題及び指導改善のポイント

中学校国語（中学2年生）

成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆)の出題のねらい

- ◇ 第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。
- ◇ 歴史的仮名遣いについて理解している。
- ◇ 故事成語について理解している。
- ◆1 文節の関係について理解している。
- ◆2 表現の効果について、根拠を明確にして考えている。
- ◆3 自分の考えを明確にして書いている。

課題に対応した指導改善のポイント

文節の関係について理解する設問、表現の効果について根拠を明確にして考える設問、自分の考えを明確にして書く設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、次のような指導改善を行きましょう。

- ◆1 文節の関係について理解を深めるために、「文節や連文節の対応に間違いがないか」と観点を示し、自分の書いた文章を見直す場面を設定する。
- ◆2 描写の仕方や比喻をはじめとした表現の技法などに着目し、書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりするような活動を設定する。
- ◆3 考えが伝わる文章にするために、「内容の中心が明確になるような構成になっているか」「自分の考えを支える理由は適切か」などの観点を示した上で、自分が書いた文章を読み返したり、互いに読んで気付きを伝え合ったりするような活動を設定する。



佐賀県教育センターWeb ページ「授業に役立つ実践研究」においても、授業改善に役立つコンテンツ等を発信しています。ぜひ、御活用ください。

